★先生方へ～解答欄の[1]～[6]の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

令和元年度　ぼっかいどうチャレンジテスト
二学期末問題（第四回）国語　中三

組　番　氏名

6問中

めあて　構成や展開、表現の仕方に着目して、筆者の考え方を捉えよう。

一　次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

二〇〇五年夏、とうとう恐れていた事態が起きてしまった。冥王星よりも大きな外縁天体2003UB313（エリス）の発見が公表されたのである。この天体は、それまで発見された外縁天体の中ではとび抜けて明るく、冥王星より大きい可能性がきわめて高いことがわかった。そこで、国際天文学連合（IAU）では、さまざまな意見を取り入れて検討してきた惑星の定義を決定することとした。二〇〇六年八月、プラハ大会のことである。天文学の専門家五百人ほどの全体会で、次の「惑星」（planet）の定義が可決された。

「太陽系の惑星とは、太陽の周りを回り、十分大きな質量をもつので、自己重力が固体に働く他の種々の力を上回って重力平衡形状（ほとんど球状の形）を有し、その軌道の近くでは他の天体をなくしてしまい、それだけがきわだって目だつようになった天体である。」

これにともなって、「準惑星」（dwarf planet）は「太陽系の準惑星とは、太陽の周りを回り、十分大きな質量をもつので、自己重力が固体に働く他の種々の力を上回って重力平衡形状（ほとんど球状の形）を有し、その軌道の近くでは他の天体をなくしてしまい、それだけがきわだって目だつようになった天体であり、衛星でない天体である。」と定義された。

この定義からすると、冥王星は、「他の天体をなくしてしまい、それだけがきわだって目だつようになった天体」とはいえない。先に発見された1992QB1などの多くの太陽系外縁天体と軌道が近いだけでなく、大きさからしても、きわだって目立つ惑星ではなくなってしまったのである。

こうして、「冥王星」は「惑星」から「準惑星」へと扱われ方が変わったのである。この変更を、人々はさまざまな思いで受け止めた。各種報道では、「冥王星が惑星から降格」という文言とともに、「寂しい」といったコメントや「惑星から外すのはけしからん」という怒りの声まで報じられていた。当時、私の勤務する国立天文台にも「納得できない」という多くのクレームの電話が寄せられた。

「惑星」を成鳥の「鶏」にたとえるなら、惑星を作る材料となる彗星や小惑星として残っている小天体は惑星の「卵」である。冥王星を含む「準惑星」は、衝突・合体しながら惑星へ成長する途中の段階の天体群であり、いうなれば鶏になる途中の「ひよこ」たちなのである。技術革新による天文学の進歩が、冥王星を「鶏」から「ひよこ」へと位置づけを変えただけで、むしろ貴重な化石としての重要性は増したのではないだろうか。

渡部潤一「冥王星が『準惑星』になったわけ」より（平成二十四年度　三省堂）

1　――線①「惑星の定義を決定することとした。」とあるが、そのきっかけとして最も適切なものをアからウまでの中から一つ選びなさい。　[1]

ア　天文学の専門家による意見の対立が大きくなってきたから。
イ　冥王星より大きな外縁天体の発見が公表されたから。
ウ　技術革新により次々と新しい天体が発見される恐れがあったから。

2　――線②「準惑星」が、定義において「惑星」と違う点について文章中から書き抜きなさい。　[2]

3　筆者は「惑星」を「鶏」、小天体を「卵」、「準惑星」を「ひよこ」と表現しているが、「準惑星」がどのような状態であることを表現しているのか、二十字以内で書きなさい。　[3]

20

※次のページにも問題があります。

4　――線③「『冥王星』は『惑星』から『準惑星』へと扱われ方が変わったのである」とあるが、このことについて、筆者の考えを次の条件にしたがって書きなさい。
（条件1）各種報道での報じられ方と比較して書くこと。
（条件2）六十字以上、七十字以内で書くこと。　[4]

70

60

めあて　材料を集めて考えを深めたり、わかりやすく伝えるために文章の構成を工夫したりしよう。

二　田中さんは、詩の魅力を伝える推薦文を書こうとしています。次の【メモ】【推薦文】を見て、あとの問題に答えなさい。

【メモ】

いわずに　おれなくなる
まど・みちお

いわずに　おれなくなる
ことばでしか　いえないからだ
いわずに　おれなくなる
ことばでは　いいきれないからだ
いわずに　おれなくなる
ひとりでは　生きられないからだ
いわずに　おれなくなる
ひとりでしか　生きられないからだ

矛盾しているようだけど、「いいきれない」というイメージはわかる。

みんな、言葉を使って生きているんだな。

「しか」という言葉に強いものを感じる。

・まど・みちお（1909～2014）詩人

※おれなくなる…いられなくなる

【推薦文】

A私がまど・みちおさんの詩と出会ったのは、「ぞうさん」や「一れんせいになったら」という歌を通してです。でも、詩を作ったのが誰か知りませんでした。まど・みちおという名前を意識したのは、小学校の教科書に載っていた詩「くまさん」によってです。

Bそのとき、図書館で、まどさんの他の詩を読み、多くの詩を書いている人だと知りました。子どものときから昆虫や動物・植物をじっと観察していると、そこに不思議な世界が生まれてくる。それはなんなのかを考えていると、詩が生まれるのだそうです。

Cまどさんの詩は、どれも一見易しいように思えるのですが、よく考えてみると「あたりまえ」の中に不思議な発見があります。この詩「いわずに　おれなくなる」にも、それがあります。「いわずに　おれなくなる」と言って、「ことばでは　いいきれないからだ」と言います。一見、矛盾しているような言い方の中で、ああ言っても、こう言っても、相手の人になかなかわかってもらえない言葉の不思議さが表されています。

「詩の魅力を伝えよう」より（平成二十四年度　三省堂）

1　【メモ】は、詩についてグループで意見を交流したことを書き込んだものです。――線①の表現から田中さんたちが感じたり考えたりしたことに当てはまるものをアからウまでの中から一つ選びなさい。　[5]

ア　強いメッセージを感じた言葉であること
ウ　具体的でわかりやすい言葉であること
イ　深く考えさせられた言葉であること

2　【推薦文】の文章の構成について、Aから[C]の内容として当てはまるものを、アからエまでの中からそれぞれ選びなさい。　[6]

A　[　　]
B　[　　]
C　[　　]

ア　作者や作品の背景
イ　他の作者や作品との比較
ウ　作者や作品との出会い
エ　詩の魅力についての説明

（完全解答）